

型枠一本締め工法が「コンクリート工学年次大会 2026（奈良）」に出展 展示ブースにて「角パイプ・クサビ式」を初お披露目

建設関連製品事業や海洋事業等を展開する岡部株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役 社長執行役員：河瀬博英 以下「当社」）は、2026 年 7 月 8 日～10 日の 3 日間わたって奈良市内にて開催された『コンクリート工学年次大会 2026（奈良）』に出展いたしました。

今年の展示ブースでは、角パイプが主流の西日本向けに、新たに開発した「角アルミパイプ・ネクスタイ（クサビ式）の型枠一本締め工法」のモックアップを全国に先駆けて初めて展示しました。奈良県内での開催であったことも追い風となり、当社ブースには多くの「角スチールパイプ」での型枠工事に親しみのある来場者が訪れ、実際にスチールとアルミのパイプを持ち比べながら、西日本エリアの型枠工事の特色であるハンマーでクサビを打ち込んだ時の「決まった感」を体感していただくなど、「見るだけではなく、体感ができる展示」としてにぎわいを見せました。



角パイプ・ネクスタイ（クサビ式）版に触れたり（写真左）、東日本を中心に使用されているネクスタイを手にする来場者（写真右）

7 月 7 日に公表された「型枠一本締め工法 角パイプ・クサビ式」の開発には、2024 年 8 月に発売を開始した当初の鹿島建設、岡部、丸久、楠工務店に加え、新たに株式会社加門組（兵庫県尼崎市）が参画しています。展示ブースには建築を学ぶ学生も多く訪れ、西日本と東日本ではパイプの形状や規格、緊結方法が異なることや、実際に持ち比べて重さの違いを体感するなど、在来工法と比較して「パイプが軽い・本数半減・使い方が直感的でわかりやすい」という特長に大きな反響をいただきました。

また、大会 2 日目の 7 月 9 日（木）には当社の技術開発本部員による講演を行い、2025 年度に日本コンクリート工学会賞（技術賞）を受賞した同工法の解説や検証した内容のほか、展示中の「角パイプ・クサビ式」についても説明し、多くの関係者へ「まずはブースで実物を体験してほしい」とアピールし、講演後はモック

アップに触れようと、多くの関係者が当社のブースを訪れました。



「型枠一本締め工法 ～軽い！簡単！早い！日本コンクリート工学会技術賞受賞～」と題してプレゼンする、技術開発本部員（写真右上）

同大会への3日間の延べ来場者数は 9,415 名と前年度を大きく上回り、大会2日目の特別講演の聴講者の総数も 300 名以上と、盛況な中で大会は幕を下ろしました。

開催期間中に奈良県内では梅雨が明け、連日の猛暑日となりました。当社ブースにお立ち寄り頂き、型枠一本締め工法のメリットについてご質問・ご意見をいただきました皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

イベント名： 「コンクリート工学年次大会 2026（奈良）」

▶ 大会 HP : <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jci2026>

開催期間： 2026 年 7 月 8 日（水）～10 日（金）

開催場所： 奈良県コンベンションセンター

主 催： [公益社団法人 日本コンクリート工学会](#)

関連動画： [「70 年ぶりの新工法「型枠一本締め®工法」新たに西日本向け工法を開発](#)（2026 年 7 月 7 日公開）

[「70 年ぶりの新工法「型枠一本締め®工法」の汎用性が向上」](#)（2026 年 7 月 7 日公開）

※いずれも外部サイト（[Kajima Official Channel](#) / [鹿島公式チャンネル](#)）に遷移します

■岡部株式会社（証券コード：5959） 会社概要

1917 年（大正 6 年）、東京・押上の地に創業。「安全・安心の提供を通じて社会に貢献する」を経営理念に、耐震・免震製品などの建設関連製品事業のほか、海洋事業も展開。長年培ってきた技術開発力により、防災・減災関連製品の提供を通じ、国土強靱化に寄与しています。また、環境に配慮した製品の開発・製造にも力を入れています。日本で培った技術を世界へと展開し、建設関連製品事業等を通じて人・社会・地球との共存共栄をはかり豊かな社会づくりに貢献します。

■本件に関するお問い合わせ先

岡部株式会社 総務部 広報チーム（担当：小澤） E-mail : okabe_press013@okabe.co.jp

〒131-8505 東京都墨田区押上 2-8-2 / TEL : 03-3626-1415